

ちぼり新施設をオープン

観光活性化の期待も

湯河原町土肥に本社を置く菓子メーカーの老舗・株式会社ちぼり（樋口浩司会長、新垣元治社長）の新施設「ちぼり湯河原スイーツファクトリー」（同町土肥）が3日にオープンした。町民や観光客ら多数詰めかけ、にぎわった。

湯河原町土肥に本社を置く菓子メーカーの老舗・株式会社ちぼり（樋口浩司会長、新垣元治社長）の新施設「ちぼり湯河原スイーツファクトリー」（同町土肥）が3日にオープンした。町民や観光客ら多数詰めかけ、にぎわった。

カフェがあり、地元湯河原産品の加工販売も行うと紹介。

さらに、雇用の創出を担い、災害時の避難場所としても協力していくことを示し、「これから地域の方々とともに、湯河原町の発展に貢献する所存です」と結んだ。

オープンングセレモニーであいさつに立った樋口会長は「皆様の温かいお力添えにより

われた記者会見で新垣社長は、老朽化していた旧本社・工場を建て替えるにあたり、湯河原町など行政とも話し合いを重ね、約7年を要したと説明。

完成した新施設は、最新設備の超衛生的工場。従来の工場見学に加えお菓子作り体験や作りたてを食べられる

ここまでできつけることができました」と感謝。「おいしいお菓子をみんなの幸せを創るといふ企業理念のもと、社員一同で、町の発展に寄与していきたい」と話した。

次に、湯河原町の富田幸宏町長が祝辞。同社の社名の縁で昨年、同町とイタリアのティボリ市が姉妹都市となったことに触れ、同社の今後の発展と新施設への期待を述べた。

続いて、新垣社長、樋口会長、富田町長、石倉幸久町商工会会長が並んでテープカット。町のマスコットキヤラ、ゆたぼんファイブも駆けつけ、オープンを祝った。

詰めかけた来店客は、工場を見学したり、湯河原産ミカンを使った新商品のスイーツなどを買い求め笑顔。お菓子の甘い香りが広がる新施設で楽しそうに過ごしていた。



大勢の来店者が詰めかけた新施設前に立つ新垣社長、樋口会長、富田町長、石倉商工会長（左から）

ちぼりは今年で創業72年目。1968年から同町に本社機能と工場を構え、クッキーなどの焼き菓子を中心に製造販売。贈答用詰め合わせクッキーでは国内生産トップシェア。海外輸出も手掛ける。

新施設のちぼり湯河原スイーツファクトリーは、本社機能と工場を併設。鉄骨4階建て、延べ床面積6072平方

方で、総工費は約30億円。昨年8月に起工、今月までに完成した。一般来場者が工場見学や買い物、飲食までできるアンテナショップを備えているのが最大の特徴。

JR湯河原駅から約200m、徒歩数分で到着できる好立地で、駅前観光を充実させる大きな力として期待されている。